

ジェットスター・ジャパン、累積搭乗者数 2,000 万人を達成

- 7月8日(土)、累積搭乗者数 2,000 万人を突破。日本の LCC では最速
- 2012年7月の就航から5年で達成
- 日本の LCC として国内最大の路線網を基盤として今後も国際線を拡充

ジェットスター・ジャパン株式会社(本社:千葉県成田市、代表取締役会長:片岡優)は、2012年7月3日(火)の就航から5周年を迎え、2017年7月8日(土)に累積搭乗者数 2,000 万人を国内 LCC として最速で達成しました。

ジェットスターは現在、東京・大阪・名古屋をハブとして、国内 11 都市・海外 4 都市、国内 16 路線・国際 9 路線を 21 機のエアバス A320 型機で 1 日約 100 便運航しています。また、国内 16 路線は日本の LCC として最多であり、国内路線においては最大のマーケットシェア(注)を擁しています。

ジェットスターは、「日本の空、世界の空を、もっと身近に。」をビジョンに掲げ、今後も充実した国内線を基盤に国際線を拡充しながら、モバイル搭乗券やキャリア決済などのイノベティブかつユニークでお客様の利便性を高めるサービスを提供してまいります。



ジェットスター・ジャパン 搭乗者 2000 万人達成記念イベント(成田空港第 3 旅客ターミナルにて 2017 年 7 月 10 日撮影)

(注):国内線マーケットシェア:52%(2016年1月~2016年12月) ※国土交通省発表資料ベース

(ご参考情報)

■累積搭乗者数推移

累積搭乗者数	達成日
100 万人	2013 年 3 月 22 日(金)
500 万人	2014 年 7 月 6 日(日)
1,000 万人	2015 年 8 月 5 日(水)
1,500 万人	2016 年 7 月 23 日(土)
2,000 万人	2017 年 7 月 8 日(土)

【ジェットスター・ジャパンについて】

「日本の空、世界の空を、もっと身近に。」をビジョンとして掲げ、2012 年 7 月より東京(成田)、大阪(関西)、札幌(新千歳)、福岡、沖縄(那覇)に就航し日本国内線の運航を開始しました。その後、名古屋(中部)、大分、鹿児島、松山、高松、熊本へと国内の就航地を広げたのち、2015 年 2 月の香港線の開設を皮切りに同年 11 月の台北線、2016 年 3 月のマニラ線、2017 年 6 月の上海線と国際路線網を拡充しています。現在、国内最大の LCC として国内 16 路線、国際 9 路線を 21 機のエアバス A320 型機(180 人)で 1 日約 100 便を運航しており、就航から 5 年で 2,000 万人以上のお客様にご利用いただいています。なお、ジェットスター・ジャパンには豪カンタスグループ、日本航空株式会社、三菱商事株式会社、東京センチュリー株式会社が出資しています。

<http://www.jetstar.com>

ジェットスターグループについて

ジェットスターグループは、アジア太平洋地域において売上で最大規模を誇る LCC の一つであり、2004 年の運航開始以来 2 億人超のお客様にご利用いただいています。ジェットスターグループのアジア太平洋地域での従業員数は 2004 年の 400 名から現在では 7,600 名へと増加し、雇用の面でも大きな成長を遂げました。ジェットスターグループ全体では、合わせて 131 機でアジアの 18 カ国 85 以上の都市に週 5,000 便以上を運航しています。毎日いつでも低運賃を提供することで、より多くのお客様に、より多くの場所へより高頻度で飛行機をご利用いただくことをグループのミッションとして掲げています。